

## 施工途中の大雨被害にも対応 スマートコンストラクション



### コマツIoTセンタで不安解消 サポート体制に期待

#### ■■現場詳細■■

宮城県 広瀬川河道整正工事

大雨の増水による氾濫を防ぐ為に、堆積した土砂を撤去する工事

【施工範囲】40,000m<sup>2</sup>

【施工土量】

盛土2,400m<sup>3</sup>

切土15,800m<sup>3</sup>

【ソリューション】

スマートコンストラクションアプリ

#### ■■導入経緯■■

(株)本田組 工事部 五十嵐英昭さん  
当社は、2017年に一度ICT建機を使用したことがあり、今回の導入は二度目でした。2018年からは積極的にi-Constructionへの取組みを開始し、対象工事への入札を本格化しています。私の担当する現場でICT施工をするのは初めてで不安がありましたが、コマツIoTセンタ 東北のセミナーに参加し、全体の流れを理解することができました。また事前の打ち合わせで、施工の始まりから終わりまでサポートしてもらえることを知り、導入を決めました。



工事部 五十嵐英昭さん

### 宮城県 (株)本田組 様

1947年1月 創業

土木工事・建築工事をメインに、  
総合建設業として、宮城県を拠点に  
創業以来、一貫して技術本位・  
品質重視の経営に努め、地域社会に  
貢献してまいりました。

掲載月:2020年8月

### 大雨被害でも冷静に対応 施工履歴データ活用

#### ■■導入効果■■

(株)本田組 工事部 五十嵐英昭さん  
今回の現場は、川の外側に堆積した土砂を撤去する工事で、40,000m<sup>2</sup>と広範囲に及びます。

従来の場合、現場を進めるごとに丁張りの設置作業が必要となり、膨大な時間と手間がかかります。ICT建機を導入することで、掘削の度に精度を確認していた業務が不要になったので、その煩わしさから解放され、大幅に人員と工数を削減することができました。また初めての導入で、ICT施工の精度に少し不安がありましたが、予想以上に誤差が少なく安心して工事を進めることができました。工事の途中で、台風や大雨の被害を受けましたが、施工履歴データによる出来形管理を採用しておりスマートコンストラクションアプリに被災直前までのデータが保存されていたため、発注者との打ち合わせをスムーズに行うことができました。

